

乳がんの早期発見の為に

当院では、東葛北部地域で初めて最新式の乳がん検診用
超音波自動ブレストボリュームスキャナを導入しました。



シーメンス社製
超音波自動ブレストボリュームスキャナ

『超音波自動ブレストボリュームスキャナ』は、
圧迫による痛みもなく、放射線も使いません。
また、検査者が位置を固定した後は、装置が
自動で検査を行いますので、身体的・精神的
ストレスの少ない、受診者に『やさしい検査』
を提供します。

実際の検査の流れ

1. ベッドに仰向けになり検査の体勢を整える。
2. 検査部位に専用ローションを塗布する。
3. 検査者が装置位置を固定する。
4. 検査スタート(装置が自動でデータ収集)。



5. 約1分間でデータ収集終了。
6. 片乳房ごとに3回データ収集を行い検査終了。

■お問い合わせ・お申込み

岡産婦人科総合クリニック TEL 047-364-2071

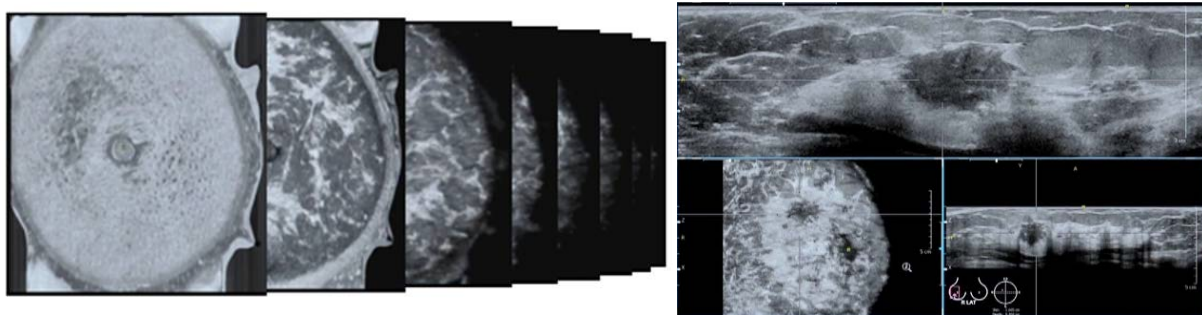
* 検査に時間がかかりますので、ご予約ください。

画像のイメージ

3方向から乳房の情報を読み取り、下の図のように1 mmごとの断面を記録します。



撮影後、冠状面500枚、横断面300枚(両側で1600枚)の画像を撮影します。



《料 金》

- | | |
|------------------------|----------|
| ①松戸市乳がん検診で超音波検査に該当する方 | : 900円 |
| ②当院で松戸市乳がん検診(視触診)を受けた方 | : 2,750円 |
| ③当院で複数の検(健)診を受けられた方 | : 3,550円 |
| ④その他の方 | : 5,050円 |

《結果説明》

画像の解析に10分以上かかりますので、結果は子宮がん検診・基本健診などの結果と一緒にご報告いたします。

- ①悪性が疑われる方は、精密検査受託医療機関にご紹介します。
- ②良性腫瘍と判断される方は、1～6か月後に当院で別の超音波検査機器で再検査をします。(健康保険の適用となります)

多くの女性を乳がんの危機から救うために…

乳がんの現状

乳がんの患者数は年々増え続けており、女性の約20人に1人が乳がんにかかるといわれています。年齢別にみた乳がんの罹患率は、50歳前後で最大になっています。これは、欧米(60~70歳に最大)に比べると有意に低く言い換えれば、日本では働き盛りの女性が最も罹患するがんといえます。一方乳がんは、早期発見により簡単な治療で完治します。

乳がん検診の現状

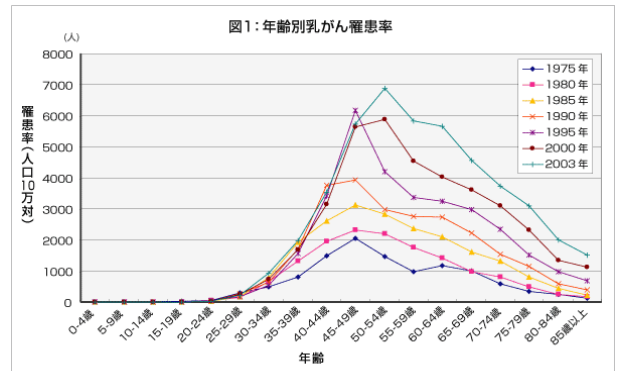
乳がん検診では、視触診+マンモグラフィーが実施されています。マンモグラフィーは乳がん発生に伴う石灰化の検出能力に優れ、50歳以上について「対象とする集団の乳がんによる死亡率を減少させる」という検診の目的が科学的に証明されています。40歳代にもそれに準じた根拠があるとされています。

マンモグラフィーは万能か？

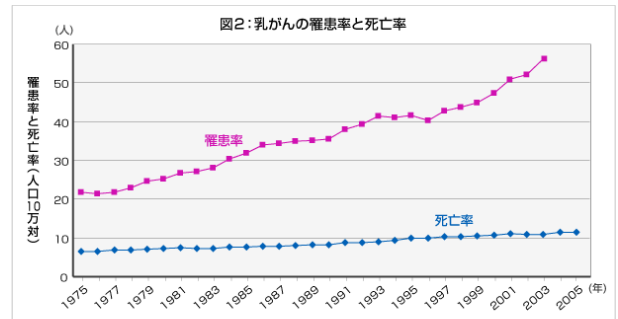
前述した如く、マンモグラフィーは乳がん検診に有用な装置ですが、全ての乳がんに対して万能なわけではありません。わが国において罹患率が急増する30歳から40歳代にかけての女性に対しては、乳房内の乳腺が発達しているため乳がんを見落とす可能性が指摘されており、また、米国では2009年11月に、40歳代の女性に対する定期的な乳がん検診を「推奨しない」とガイドラインを改定しました。わが国では科学的根拠に基づいた推奨度の改訂を行うまでは、当面現行の推奨を継続することになっています。

最新の超音波診断装置を導入

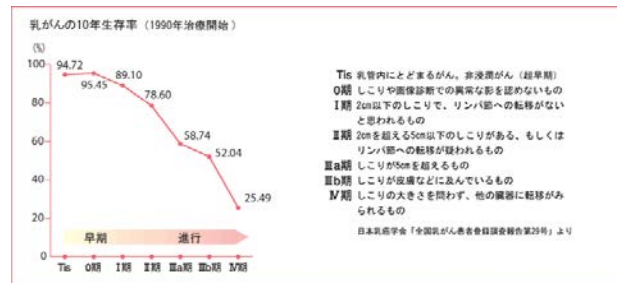
今までの超音波検査では、検査時間や検査精度などの検査者依存性を完全に排除できませんでした。最新の装置では、検査者依存性を出来るだけ排除するために、より多くのデータを自動で収集できるようにしました。また、超音波診断装置は、圧迫などによる痛みや、X線による被ばくの心配もなく「受診者に優しい検査」です。



出典: 地域がん登録全国推計によるがん罹患データ(1975~2003年)、国立がんセンターがん対策情報センター



出典: 地域がん登録全国推計によるがん罹患データ(1975~2003年)、国立がんセンターがん対策情報センター
人口動態統計(1975~2005年)、厚生労働省



	マンモグラフィー	超音波診断装置	自動プレストボリュームスキャナ
長所	微細な石灰化の描出に優れる。	痛みなどを伴わず、受診者に優しい検査です。	痛みなどを伴わず、受診者に優しい検査です。検査時間、検査精度が検査者に依存しない。
短所	圧迫により痛みを伴うケースがある。若年者には注意を要する。X線を使用する。	検査時間、検査精度が検査者に依存する。	データ容量が大きくなる。